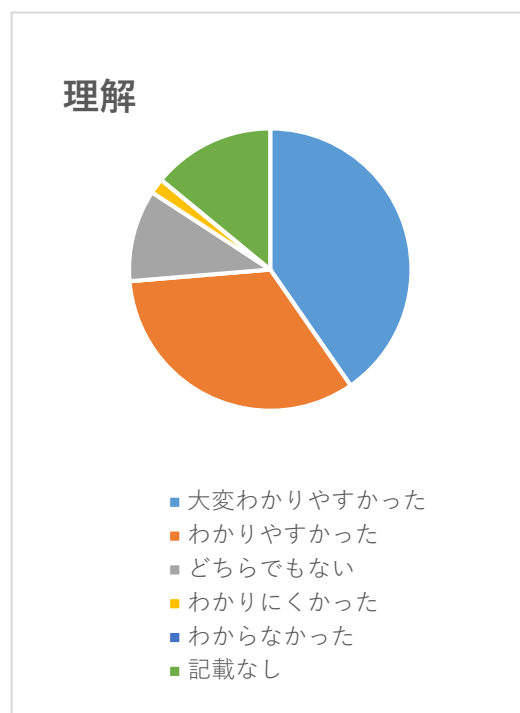
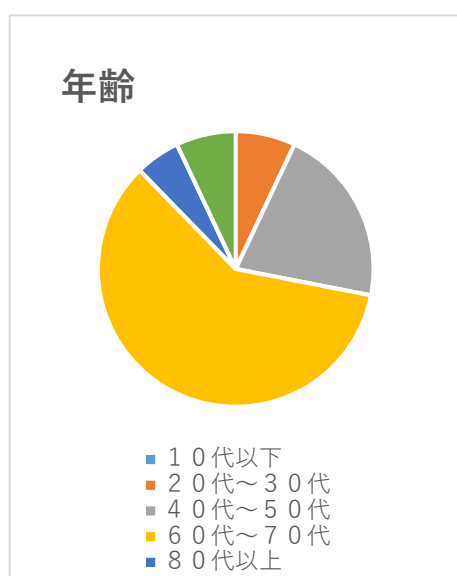
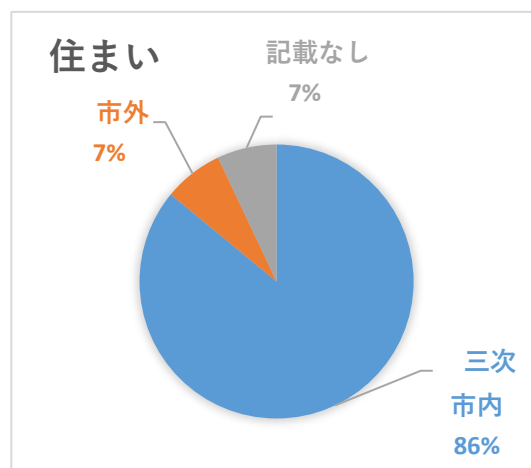
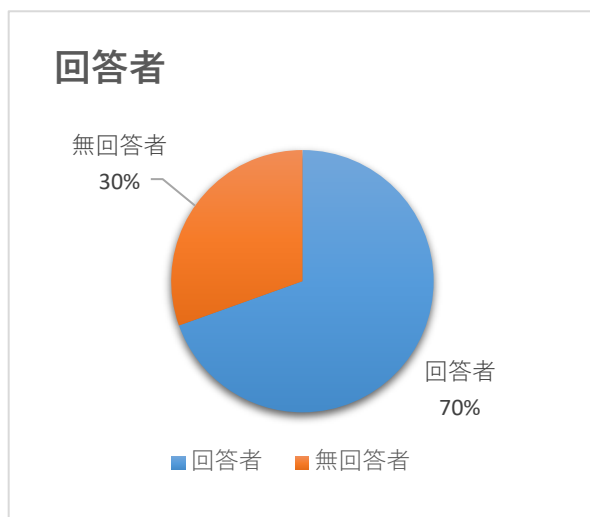


「次期一般廃棄物最終処分場について」講演会 アンケートまとめ

2024/2/10



講演を聞いての感想

- ごみ=資源としてとらえると宝の山である。その有用性を考えていく必要があると感じた。
- 資源化をさらに進める必要があると感じた。
- ごみの分別をする理由とその効果が分かった。日頃からもっと気を付けようと思った。
- 最終処分場についての知識が深まった。十分理解できた。
- 最終処分場の必要性がわかった。
- 三次の分別は厳しいと思っていたが、三次以上に厳しいところがあることに驚いた。
- 良い公演でした。とてもわかりやすく、聞きやすかった。

- 処理場のモニタリングで、遮水シートより地下で相当な量の廃棄物が堆積された時点で電極により異常が感知された場合、どう対処するのか疑問。
- とてもわかりやすく、これまで知らなかったことを色々知ることができた。
- 身近な問題をとても分かりやすく、また幅広く多くの課題を取り上げられ良かった。
- 一般廃棄物の減量に努める必要性を感じた。
- 「ごみ」と一言で言ってもよくわからなかったが、非常に詳しく聞いて良かった。
- ごみの処理・処分の方法は一つではない事に驚いた。その方法を決めるのは我々市民であることもよく理解できた。リスクは低い方が良いがゼロにはできない。その判断には個々の意見があり、話し合う必要がある。話し合う前には学習・勉強する必要があり、本日は良い勉強ができた。
- 今後の未来のために、一人ひとりが分別に真剣に取り組まなければならないと思った。
- 欲しいものを買うのではなく、必要なものを買う。なるべく家庭ごみを出さないようにする。作る責任、使う責任を意識する。
- ダイオキシン類対策特別措置法は、今となっては意味が無い。SPEED'98リストのように、廃止すれば良い。先生方にはもっと発信して欲しい。
- ごみのことがとても良く理解できた。今後あらためてごみの事について広く関心を持って考えていきたいと思う。
- 出来るだけごみを出さないように努力したい。また自分でしっかり分別してごみを出さなければと思った。
- 自分の意見をしっかり持って分別の事を考えていきたいと思った。
- 日常のごみの出し方を反省し、ごみを少なくすることを考え実行したい。
- 自分たちがごみを少なくする、出さない努力が必要ということがわかった。
- 自身の周りのことについて考えてみようと思った。
- 豊かになればごみが増える。
- 無駄をなくし、ごみとなるものをなるべく少なくする。きちんとした知識を持つことが大切である。
- 最終処分場が安全であるとの事は、よく理解できた。
- 廃棄物の処理方法が具体的に理解できた。
- 「正しく知って正しく怖がる」ことの大切さについて理解できた。
- ごみの名は、私にとっての不要物ということを知った。処理についても良く分かった。
- ダイオキシンは農業の副産物。残留性、本当に毒は無いのか？
- 専門的な話を聞いて良かった。分かりやすかった。考える事もあった。
- 詳細データのところが少しわかりにくかった。
- 安全性を前提で説明されている。安全性の基準値は処分場を廃止するときに計られる基準なので埋立中に計られるか疑問である。
- 最終処分場の基本的なことを、身近なごみの分別を用いてわかりやすく解説していただいた。
- 最終処分場の必要性や危険でないことを知り安心できた。
- 私たち一人ひとりが日頃からごみと向き合い正しい認識で未来へ責任を持って取り組む

ことが必要と思った。

- ごみを減らし、資源化の意識を高めたいと思った。
- ごみに対する考え方、生活の仕方が理解できた。
- 視野が広がるような話で良かった。
- 生きている限り人はごみを出し、ごみが付いてまわるが、出しても最小限に抑えることを痛切に感じた。「目からウロコ」の内容だった。
- 大量生産、大量消費で簡単に物を捨てる風潮の中、自分も物を手に入れるとき、「本当に必要か」少し気を付けたい。
- ごみのことは自分ごとで考えないといけない。
- 私たちの生活に直接関係のある話で、大変学ぶことが多かった。
- プラ・紙等の「資源化」の先、どのような方法で何の資源になっているのか。ペレットや別の製品になる等、大筋はわかるのですが、三次の取引先等の具体的な話をもっと聞けたら良かった。
- 夢の島は大焼却場にもなり、東京では一時期、牛乳パック（防水加工された紙）が分別対象になる程、厳しい分別を求められた時期もあった。マグロで有名な水族館や植物園など、人のいこいの場になる過程が全く説明されなかったのが不自然に感じた。
- ごみの処分は必要だが、まずはごみを出さない、作らないことが必要だと思う。
- ごみを出すのは「自分たち」とあるが、食料等何を購入しても使い捨てのプラスチックや発泡スチロール、ラップに包んである。できれば、出したくなくても仕方なくごみとして出している。製造側が食べたらず捨てるような入れ物に入れなくて、販売することを考えなければならない。スーパー、特にコンビニは買う物は全てごみになる容器に入っている。
- 多くの市民が聞いて実践してほしいと思った。
- 処分場に行くごみの処分方法、ごみを無くす方法等、本質的な話が聞きたかった。
- 質疑応答が良かった。
- 興味深く拝聴したが、チラシから受けた私の期待とのズレがあった。
- ごみの減少の大切さを感じたので、日頃から気を付けて行きたい。
- 物を大切にしていければと思った。
- 生活の中で「ごみ」を作らない（減量）工夫の必要性を思った。

その他「ごみ」の処理に関してのご意見など

- 産業から出た物を市民が買い、不用になると一般ごみとして市（税金）で処理する流れを変えられないか。30年先にまたこの問題を議論するのは進歩がなく寂しい。自転車、家具等タリサイクルできるようにボランティアで分別すれば、皆、けっこう暇なのでは。（私も含めて）
- 三次市で埋立ごみが年何トン出て、何を埋めているのか、数値を示してほしい。
- 私はごみを資源とごみに分けて、最終的に不要と思った物を環境クリーンセンターへ持ち込んでいる。
- 「ごみ」となるものを作りださないことが基本的に必要だと思う。人間の生活様式を変

- えなくては全世界ゴミだらけになると思う。これ以上、便利を求めてはいけないと思う。
- ごみの処理では追いつかないのではないかと。地球温暖化、海中のマイクロプラスチック問題など、環境汚染も密接に結びついていると思う。
 - 最終処分場の応募条件を満たす地域が三次にあるか。条件内容について検討される必要があるのでは。
 - 最終処分場によって荒廃集落の再生ができるのか。
 - 人口減少の中で環境を整備し、安く住宅地として販売することで定住促進できるのでは。
 - 名称を「処分場」ではなく「地域再生地」とか如何か。
 - 資源化、リサイクル等の言葉でまとめず、三次のごみが具体的にどこで何に加工されているか、知る機会が欲しい。
 - 一般的塩化物、非塩化物の製品例等、三次市からの提示が無いのは、焼却していないからだと思うが、意識を高めるためには、提示の機会があっても良いのではないかとと思う。
 - 一人ひとりが、ごみのことについて、責任を持って子どもたちにバトンタッチしたい。市の責任だけではない。一人ひとりの取組、心がけによるところが大きいと思う。
 - 能登半島での今回の地震による思わぬ災害。日本列島においては何処で何時発生してもと思われる今回の大災害。被災された方々の避難生活、何時まで続くことやら。災害によるごみの山。生活している私たちの年周りに起こりうる事象ではないか。他人事とは思わず、生活に困っている方々に寄り添い。誰もが身近に考えたいものである。
 - ごみ屋敷について質問できなかった。家主が亡くなられて身寄りがない場合、ごみは一般廃棄物なので、廃掃法第6条の2により市町村に処理責任があることになるのか。
 - 安全・安心なごみの処理を誰もが望んでいると思う。でもごみの人々のためによみがえるしくみをたくさん作れたらもっともっと嬉しい。
 - 日常のごみの収集・処理等に感謝している。市民として、ごみ出しについて、分別を確認しながらすることと、少しでもごみが減らせるように無駄にしないようにしたい。
 - プラ資源ごみで容器包装以外の一般プラを資源として集めたらどうか。
 - 最終処分場が安全であるとは言え、どんどん造られることは好ましくない。できるだけ埋め立てている物（灰など）のリサイクルを考えてほしい。
 - リサイクルにはお金がかかるかもしれないが、進めてほしい。
 - 事業系廃棄物どこへどう処理されるのか。一般ごみと一緒にするのは、管理区別ができませんか。
 - 他市からの事業系廃棄物が搬入されることは無いのか。またその内容は、誰がどう調べてチェックしているのか。
 - なるべくごみを出さないようにする。
 - できるだけ積極的に情報公開を行って、市民の不安を解消する取組をしてください。
 - 鳥インフルなどで処分した場所では、経過管理は行われているのだろうかと思った。
 - 企業もごみを少なくする方法を考えるべき、過剰包装が多い。食品と一緒にごみも買っている気がする。
 - 食品購入・販売のあり様を昔の方式に戻すべき。肉、魚、野菜、豆腐など包装しすぎ。スーパー、コンビニが多くなり、昔ながらの小売店が無くなった。昔は無包装で商品が

買っていた。

- 今後の清掃行政に期待している。高齢者が増える中で、高齢者に分かりやすい、又は出しやすい、ごみの分別等を考えてほしい。
- 自転車、家具等は市でリサイクルして住民に分配することを考えてほしい。
- 三次市のゴミ袋が高くなっている。もう少し出す袋の簡素化を考えてもらいたい。広島市はもっと自由だ。（袋も新聞紙を代用したり、ビニールも透明なものを使用しても良いようになっている。）
- 市民はもっと勉強しなくてはいけない。
- 仕事場・地域での講習会、勉強会等々をして、個人個人に自覚するように促す。子どもや孫たち（地球上や宇宙の未来のためにも）大切なことなので、学校等でも学習や体験をさせる。
- ポイ捨てが多くあり、海に流れ、細分化して魚や哺乳類が食べて人間が魚等を食べる。個々がごみを正しく分別して、ポイ捨てをしないこと。
- 本日のような講演を多くの方が聞いて、勉強する必要があると思う。関心を持つことが大事と思う。
- 講演に対し、三次市の取組・施設の現状説明が欲しかった。回収量の実態。ごみの削減など。
- だれでもできる取組の場を設ける。処理場や工場見学など。
- 日常生活で扱っているごみの分別は、市の指示どおりにしている。
- 一般廃棄物処理場建設は市街地に近い所が望ましい。
- 今回の企画はとても良かった。参加者も多く、ニーズをうまく取り上げたことと感心している。
- 何事も「わからない」ということが「不安」につながるのだと思った。しっかり知ることができれば、不安も少なくなるのではないかと思う。
- 知らないことによる不安が不信につながるのだと感じた。正しく知って正しく怖がる。このことが必要でこのような啓発、周知を今後も続けることが重要だと思う。
- 少し処理施設が狭く感じます。
- 残飯の捨て方が難しいと普段感じることもある。捨て方がもっと簡単になれば良いと思う。
- 正しく分別して利用することが今を生きる私たちの課題であると感じた。

以上